

島根原子力発電所2号炉 高経年化技術評価ヒアリングコメントに対する回答一覧表

No.	指摘日	資料の該当箇所			コメント内容	コメント者	回答内容	反映先資料	該当頁
		図書名称	該当頁	事象分類					
1	2023年10月23日	島根原子力発電所2号炉高経年化技術評価(30年目)補正に係る主な説明事項	36	電気・計装設備の絶縁特性低下	難燃PNケーブルの高経年化への対応について、取替を行ったケーブルに対しても再評価を行うように読み取れるため、記載を適正化すること。	雨夜審査官	難燃PNケーブルの高経年化への対応について、ケーブル取替または再評価を行うことが分かるよう、記載の適正化を行った。	高経年化技術評価(30年目)の補正に係る主な説明事項	36
								補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	10
2	2023年10月23日	高経年化技術評価書(別冊)ケーブルの技術評価書	2-55	電気・計装設備の絶縁特性低下	難燃FNケーブルの絶縁体の材質について、その他の記載と整合しているか確認し、記載を適正化すること。	日高専門職	次回補正時に高経年化技術評価書(別冊)ケーブルの技術評価書の難燃FNケーブル絶縁体材質の記載を適正化する。	高経年化技術評価書(別冊)ケーブルの技術評価書	2-55
3	2023年10月23日	島根原子力発電所2号炉高経年化技術評価(30年目)補正に係る主な説明事項	34	電気・計装設備の絶縁特性低下	新規設置設備である原子炉建物燃料取替階ブローアウト閉止装置およびモジュール型制御計測用高耐熱電気ペネトレーションについて、評価期間の違いが分かるよう、記載を適正化すること。	鈴木参与	原子炉建物燃料取替階ブローアウト閉止装置およびモジュール型制御計測用高耐熱電気ペネトレーションについて、評価期間の違いが分かるよう、記載の適正化を行った。	高経年化技術評価(30年目)の補正に係る主な説明事項	34
4	2023年10月23日	島根原子力発電所2号炉高経年化技術評価(30年目)補正に係る主な説明事項	44	6事象以外の劣化事象	事故時使用条件の最高使用温度178℃について、算出根拠、プロファイルおよび解析の設定条件を補足説明資料へ反映すること。	皆川調査官	電気ペネトレーションの気密性低下に係る事故時条件の最高使用温度178℃について、温度解析結果から算定した温度であること、また、温度解析結果の詳細を補足説明資料に追加した。	補足説明資料(6事象以外の劣化事象)	別紙5-1~3
5	2023年10月23日	島根原子力発電所2号炉高経年化技術評価(30年目)補正に係る主な説明事項	51, 52	6事象以外の劣化事象	新規設置設備であるモジュール型制御計測用高耐熱電気ペネトレーションの評価期間について、その他電気ペネトレーションの評価期間との違いが分かるよう、記載を適正化すること。	日高専門職	モジュール型制御計測用高耐熱電気ペネトレーションの評価期間について、その他電気ペネトレーションの評価期間との違いが分かるよう、記載の適正化を行った。	高経年化技術評価(30年目)の補正に係る主な説明事項	44, 51
6	2023年10月23日	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙8-25, 26	電気・計装設備の絶縁特性低下	課電電圧の値について、使用電圧等を用いて試験を実施している旨が分かる説明を補足説明資料へ反映すること。	皆川調査官	課電電圧の値について、使用電圧等を用いて試験を実施している旨、補足説明資料に追加した。	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙8-25, 26
7	2023年10月23日	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙8-26	電気・計装設備の絶縁特性低下	出典名称について、記載を適正化すること。	皆川調査官	出典名称について、記載の適正化を行った。	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙8-26
8	-	-	-	-	-	-	端子台接続(原子炉格納容器内)については、10定期事業者検査の周期で取替を実施している旨、補足説明資料に追加した。	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙5-4
9	-	-	-	-	-	-	原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル閉止装置について、表「電気設備の保全項目、判定基準及び点検頻度」に追加した。	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	別紙8-9
10	-	-	-	-	-	-	誤記修正他、記載の適正化を行った。	補足説明資料(電気・計装設備の絶縁特性低下)	目次, 31, 32, 別紙8-25, 26, 別紙9-3, 5, 別紙10-1, 6, 8